

# ふじい



No.3

令和6年2月20日

藤井小学校学校運営協議会

## 第4回学校運営協議会が行われました

去る2月16日（金）、藤井小学校図書室において、令和5年度第4回学校運営協議会が開催されました。今回は、今年度の最終回ということで、学校評価をもとに今年度の振り返りと改善点の話し合いをしました。さらに、本校の次年度の学校経営方針の概要を校長先生から、話していただき、次年度へ向けての方向性の確認を行いました。協議会終了後には、6年生の子供たちと給食を6年生教室で一緒に召し上がっていただきました。

今号は、協議された内容をいくつか紹介していきます。

<R5年度地域連携推進目標>

地域と家庭と学校のさらなる協力・連携をめざして  
～家庭との連携のための方策や支援を考える～



### 1 学校評価をもとに

学校評価のアンケートの結果を基に、今後更に伸ばしていきたい点と改善すべき点を話し合いました。特に話題になった内容は以下の通りです。

- ・中学校へ向けて、小規模校から卒業していくにあたり、現在の恵まれた環境から、子供たち自身がいかに対応していくか、自立への後押しが必要なのではないか。  
→小規模校だからこそ、運動会やその他の学校行事等で、役を与えられる機会が多くなり、それに伴ってリーダーシップを発揮しなければならず、そういった経験の積み重ねが、柔軟に生き抜く社会性を身に付けていくことの一助になっていると感じる。  
→「学校は失敗するところである」という言葉に代表されるように失敗を学ぶ経験（くじけたときに立ち直ろうとすること）が、心を強くする。小規模校ではあるが、共通学区があるという藤井小独特の環境が、現在の多様性の社会を反映しており、その中で、子供たちが「折り合いをつける」ことを学んでいけるよう、先生方が尽力している。また、そのことを保護者の方が理解し、協力していることは、素晴らしいと感じる。今後も引き続き、地域と連携し、地域に根差した学校としてあり続けてほしい。
- ・「眠育」は、前述の「心の強さ」と関連があり、睡眠と脳機能の発育から考えても、重要である。規則正しい生活は「心の健康」を育てる。十分な睡眠をとれるように環境を整えていくことも大切である。

### 2 次年度に向けて

- ・特別支援学級の開設についての通知を、保護者の皆さんに2月9日付で配付した。3月末ごろには、3階パソコン室に備品類が運ばれ、教室として整理される予定。
- 次年度は、「子供一人一人のウェルビーイング（幸福度）を高めよう」という視点からも、学校の教育環境をさらに充実させるとともに、学校を通して、地域との交流を広めていきたい。

### 3 最後に

藤井小学校のたくさんあるすばらしさの一つに PTA 活動があると思います。「Parent（親）Teacher（先生）Association（協会）」の略語ですが、Association の名詞形 associate は、「仲間」を意味します。つまり先生と保護者は、「仲間・同志」ということですね。

これからもお互いに力を合わせて未来ある子供たちをまっすぐに育てていきましょう！

